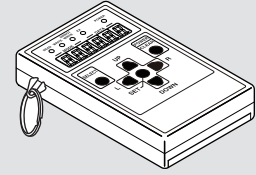


AnyWire アドレスライタ

ARW-03

赤外線非接触型

リモートヘッド装着対応

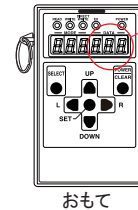


Anywireは株式会社エニワイヤの登録商標です。

このProduct Guideは個別製品について記載しています。内容をお読みの上ご理解ください。

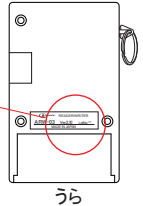
適応機器	分類	タイプ	ファームウェアバージョン	
			Ver.1.00以前	Ver.2.10以降
	ポカよけターミナル	防塵型、小型、扉型	○	○
	AnyWireASLINKターミナル	全機種	×	○

○：使用可、×：使用不可



POWER投入時バージョンを表示します。

このラベルに「Ver.**」の表記があります。



おもて

うら

【安全上のご注意】

安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。



警告

○システム安全性の考慮

本システムは、一般産業用であり安全確保を目的とする機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。

○設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。

○ダイレクトモードでの設定変更は、書き込んだ時点で変更値に更新されます。アドレス変更などでは思わぬ動作につながる可能性がありますので安全に十分配慮の上ご使用ください。



注意

○システム電源

DC24V安定化電源を使ってください。安定電源でない電源の使用はシステムの誤作動の原因となります。

○高圧線、動力線との分離

AnyWire システムは高いノイズマージンを有していますが、伝送ラインや入出力ケーブルと高圧線や動力線とは離してください。

○コネクタ接続、端子接続

・コネクタ、接続ケーブルに負荷が掛かたり外れたりしないよう、ケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。

・コネクタ内部、また端子台には金属くずなどが混入しないよう注意してください。

・金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。

○機器に外部からのストレスが加わる様な設置は避けてください。故障の原因となります。

○伝送ラインが動作している時に、伝送ラインとスレーブユニットの接続を切断したり再接続したりしないでください。誤作動の原因となります。

○AnyWire システムは下記事項に定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

【特 長】

- AnyWire システムのユニットで、赤外線書き込みポートを持つユニットのアドレスや動作仕様の設定に使用します。このライタによって非接触でアドレス、パラメータを設定する事が可能です。
- 書き込み、読み出し、ができます。
- 本体は小型で電池駆動のため、電源コードが無くどこにでも携帯可能です。
- アドレス値は7セグ表示器で表示され、直接十進数で扱えるので暗い場所でスイッチが見づらい、設定値を計算しなければならないといった不便が無くなります。
- 別売で、狭小箇所や小型ユニットに対する書き込みがし易くなるリモートヘッド (ARW-RH) が用意されています。
- 電源を切り忘れても電池を保護する、自動シャットアウト機能付。(設定途中の状態は、設定前内容に戻ります)

【型 式】

ARW-03	赤外線非接触型アドレスライタ (Ver.2.10)
ARW-RH	狭小部用リモートヘッド (別売)

ARW-03とARW-RHのセット品もあります。

型式：ARW-03-RH

【保証について】

■保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。

■保証範囲

上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
- 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- 納入者以外の改造、または修理による場合。
- その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

■有償修理

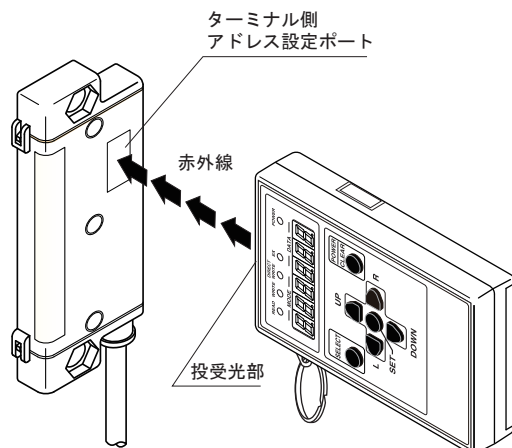
保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

【概 要】

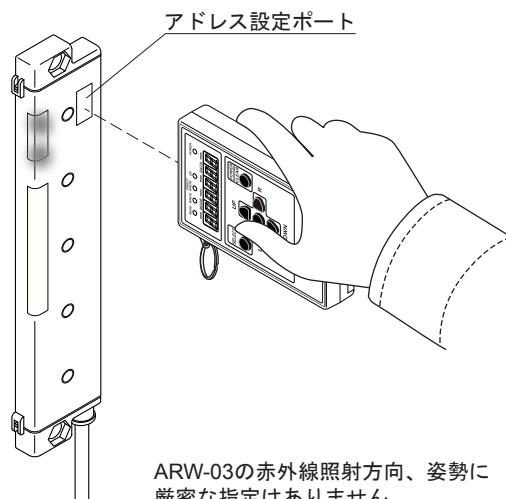
ARW-03は赤外線を使い、ユニットにアドレスを書き込んだり、ターミナルに書き込まれているアドレスの読み出しを行う事が可能です。

赤外線投受信部は、外乱光の影響を受けにくくしていますので室内の殆どの場所で使えます。また、指向性の緩い拡散型投受光方式により、送受信時にはアドレスライター光軸を目見当で合わせるだけで十分機能します。

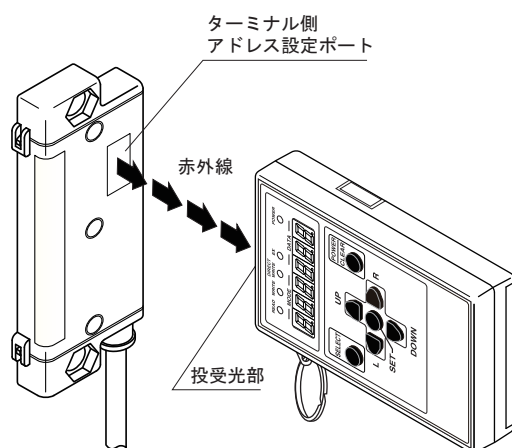
■アドレスの書き込みのイメージ



■操作のイメージ

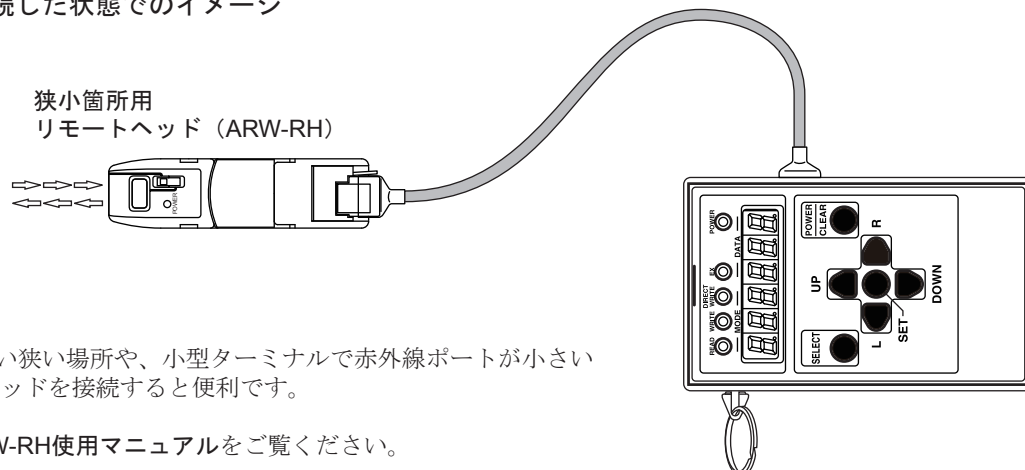


■アドレスの読み込みのイメージ



注意 ARW-03の投受光部、及び設定するユニットのアドレス設定ポートに直射日光等の強い外乱光が当たっていると、書込みや読み出しができない場合があります。そのような場合は、手などで遮蔽していただきますようお願いいたします。

■リモートヘッドを接続した状態でのイメージ



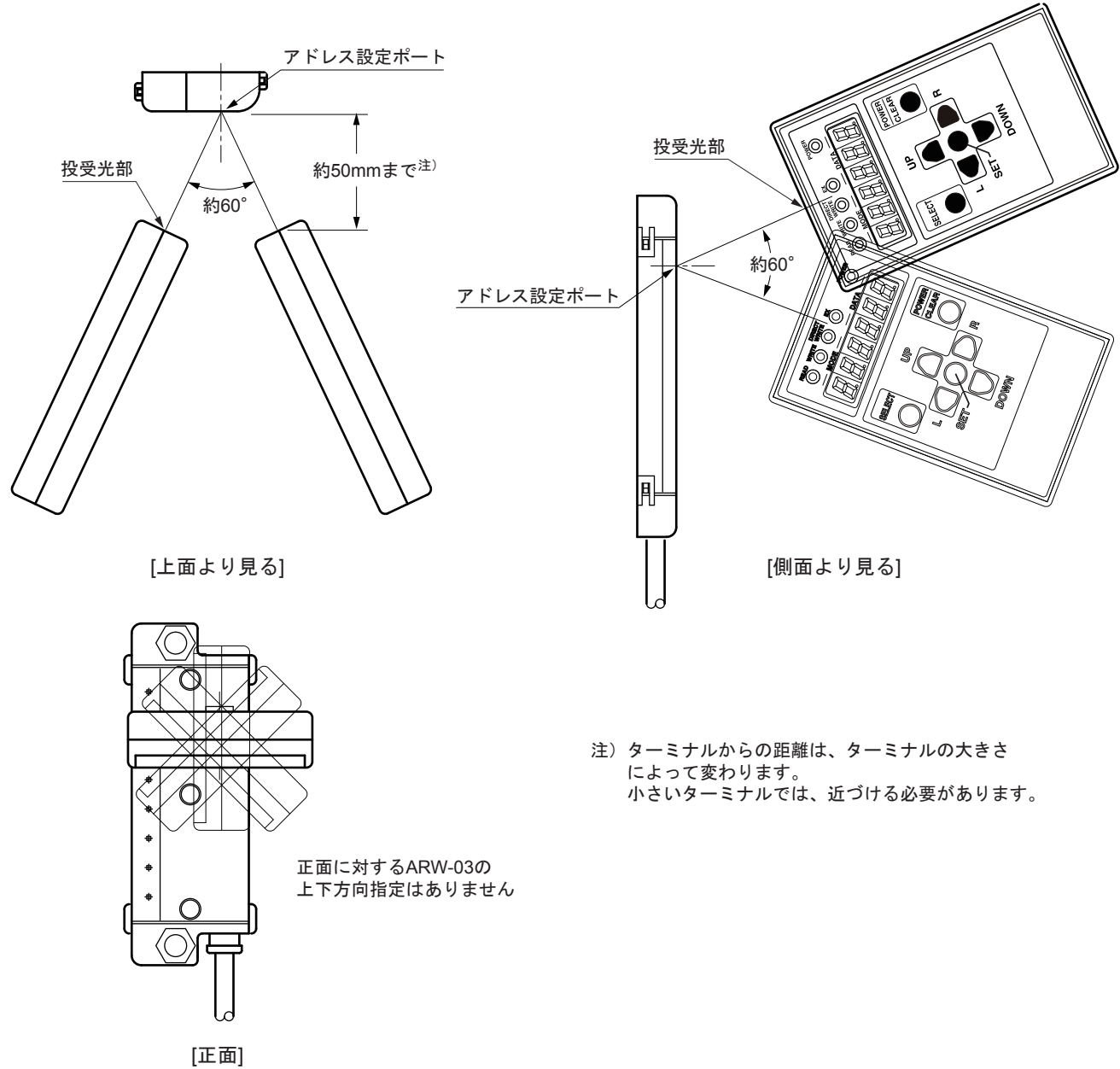
ARW-03本体を近づけにくい狭い場所や、小型ターミナルで赤外線ポートが小さい場合などには、リモートヘッドを接続すると便利です。

ARW-RHについては、ARW-RH使用マニュアルをご覧ください。

【操作姿勢】

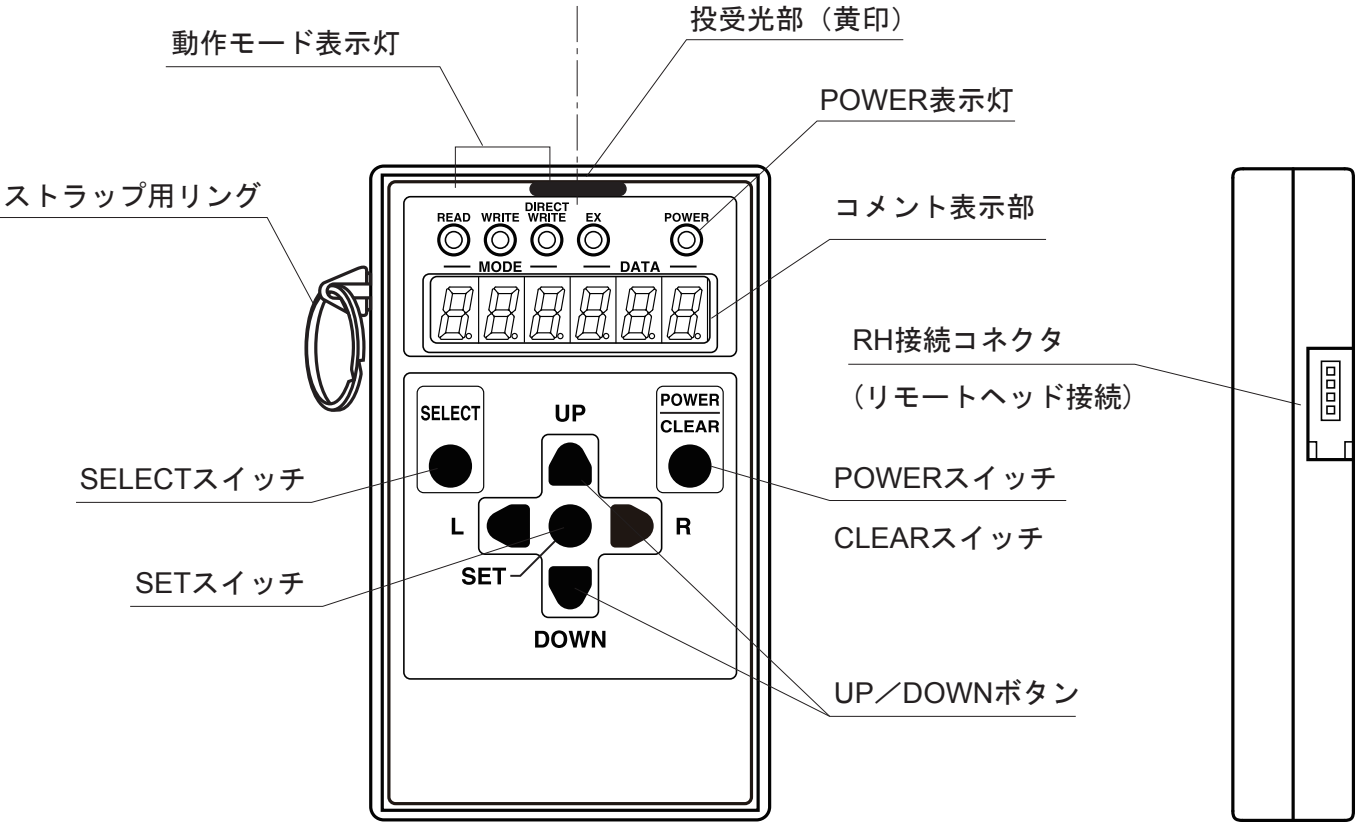
操作時は、ある程度の距離範囲内での操作が前提となります。
投受光可能距離についての目安は下記の通りです。

■アドレス書き込み、読み込み時の姿勢目安



注) ターミナルからの距離は、ターミナルの大きさ
によって変わります。
小さいターミナルでは、近づける必要があります。

【各部の名称】



【操作の種類】


ARW-03の操作には下記の項目があります。

目 的	手 段	選択するモード	バージョン		説明ページ
			Ver.1.00以前	Ver.2.10以降	
ARW-03 初期確認	SELECTスイッチを押し ながら POWERスイッチを押す	最大アドレス選択	○	○	6
		最大パラメータ数選択			
ティーチング	直接更新	EXモード	×	○	7
アドレスの読み出し	直接読み出し	READ モード	○	○	8
アドレスの書き込み	電源リセット更新	WRITE モード	○	○	10
	直接更新	DIRECT WRITEモード	○	○	11
パラメータの読み出し	直接読み出し	READ モード	△	○	15
パラメータの書き込み	電源リセット更新	WRITE モード	△	○	16
	直接更新	DIRECT WRITEモード	△	○	17

○:使用可、△:条件付、×:使用不可

【ご使用の前に】

読み込み、書き込みを行うユニットにより、ARW-03の内部設定を確認する必要があります。
ご使用の前にこのユニットが記憶している設定の内容を確認し、対象ユニットに適合させてください。



注意

以下の操作は、対象となるユニットに正しく設定を行うため必要なものです。
初めて使用される時は必ずこの行い、アドレスライタに設定されている内容を確認してください。
アドレスライタとユニットの対応が適切でないまま、読み出し、書き込み操作を行うと、ユニットが正しく動作しない可能性があります。
(適切に設定し直せば問題ありません)

■確認する内容


確認する内容は、「最大パラメータ選択数」「最大点数設定モード」です。
「最大パラメータ選択数」は、設定できるパラメータの数で、“0～19”の範囲で登録します。
「最大点数設定モード」は、ユニット種類に合わせ、設定できる最大アドレス“256”または“512”を切換ええます。

●最大点数設定モード		出荷時：512	
ターミナル接続対象	使用モード		
	256モード	512モード	
OpenTerminalシリーズ Bitty Brdge EZwire POKAYOKETERMINAL	○	—	
A20シリーズマスタ	—	○	

●最大パラメータ選択数

出荷時：0

最大パラメータ選択数は、“Pn”で表現され、0から19まであります。
例えば、“4”と設定しておく、パラメータモード時 01～04 の4種類が選択できるようになります。



注意


パラメータの有無や数はユニットによって異なります。
不必要なパラメータの書き込みを防ぐため、設定対象となるユニットとその必要設定機能に応じて正しく設定してください。
不必要なパラメータが書き込まれると動作しなくなる場合があります。

■設定操作

	操作方法	表 示	
1	SELECTスイッチを押しながら POWERスイッチをONする	Ad xx 256 か Ad xx 512	現在の最大点数設定モード
2	SETスイッチを押す	Ad8256 △ か Ad8512 △	ドット点滅移動
3	UP/DOWNスイッチで設定したい 数を表示させ、SETを押す	8885EE	SET表示後、設定値に変わる
		Ad8256 △ 例)	256に設定した場合
4	Lスイッチ押す	Ad xx 256 か Ad xx 512	
5	UPスイッチを1回押す	P xx 8880 ～ P xx 8889	現在の最大パラメータ選択数
6	SETスイッチを押す	P88880 △ ～ P88889 △	ドット点滅移動
7	UP/DOWNスイッチで設定したい 数を表示させ、SETを押す	8885EE	SET表示後、設定値に変わる
		P88889 △ 例)	19に設定した場合
8	POWERスイッチをOFFする		

【EXモード】

ASLINKAMP、ASLINKSESOR を使用する場合は、これらターミナルに対し使用前に ON/OFF 動作の初期設定を登録する必要があります。
この設定を行うのが「EXモード」です。

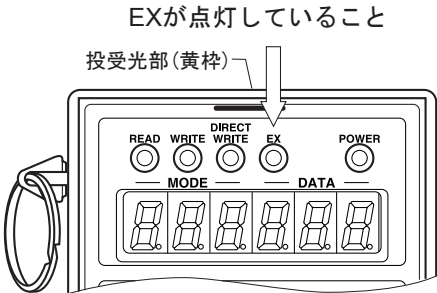
 注意

ON/OFF設定は必ず行ってください。
正常動作が行われない可能性があります。

■設定操作

	操作方法	表 示	
1	POWERスイッチON		約2秒後SELECT点滅表示
2	SELECTスイッチを押す		-----点滅表示
3	SELECTスイッチを数回押し EX表示を点灯	EX(赤)	
4	SETスイッチを押す		SEt on モード
5	該当ターミナルがワークを検出 する状態にしてSEton を設定する		設定中
6	SEton設定 が正しく行われると Goodの表示が出た後、SEton表示 に戻る		正常に完了
			設定完了
7	設定に失敗した場合はSEt Errが表示 されるので、投受光面を合わせ直し 6項の状態になるまで、再度SET スイッチを押す		Err表示
8	SEtonが完了後 UPまたはDOWNスイッチを1回押す		SEt oFF モード
9	続けて該当ターミナルからワーク を外しSEtoFF を設定する		設定中
10	SEtoFF設定 が正しく行われると Goodの表示が出た後、SEtoFF表示 に戻る		正常に完了
			設定完了
11	設定に失敗した場合はSEt Errが表示 されるので、投受光面を合わせ直し 8項の状態になるまで、再度SET スイッチを押す		Err表示
12	一旦Err表示を消す場合はCLEAR スイッチを押す		
13	次の設定に移行する場合は、 SELECTスイッチを押す	READ(緑) WRITE(黄) DIRECT WRITE(橙)	













ARW-03使用後は、POWERスイッチを
長押しし、電源をOFFしてください。



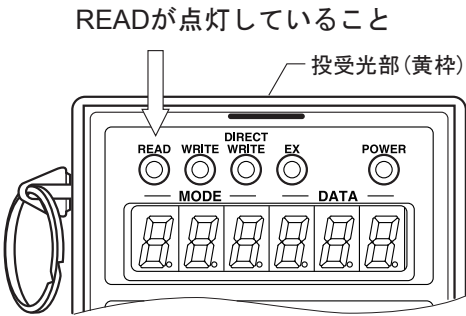
【アドレスの読み出し・・・READモード】

ユニットに書き込まれたアドレスを読み出すモードです。
読み出し対象ユニットに電源（2線の場合は伝送信号）が供給されている事を確認してください。

■アドレスの読み出し操作

	操作方法	表 示	
1	POWERスイッチON		約2秒後SELEcT点滅表示
2	SELECTスイッチを押す		-----点滅表示
3	SELECTスイッチを数回押し READ表示を点灯	READ (緑)	
4	SETスイッチを押す		読み出しモード確定
5	書き込みたいユニットのアドレス 設定ポートにARW-03の投受光部 (黄枠)を向けSETスイッチを押す		読み込み中
		 例)	読み込んだアドレス値
6	次のユニットに移って読み込む 場合は、そのまま次のアドレス 設定ポートに移りSETスイッチを 押して読み出しを繰り返す		読み込み中
		 例)	読み込んだアドレス値
7	読み出しに失敗した場合		Err表示
8	投受光面を合わせ直し、 再度SETスイッチを押す		読み込み中
		 例)	読み込んだアドレス値
9	・ Err表示を消す ・ 他のモードに切り換える CLEARスイッチを押す		読み出しモード表示に 戻る
10	SELECTスイッチを数回押し 希望モードの表示を点灯	READ (緑) WRITE (黄) DIRECT WRITE (橙)	
11	SETスイッチを押す		

ARW-03使用後は、POWERスイッチを
長押しし、電源をOFFしてください。



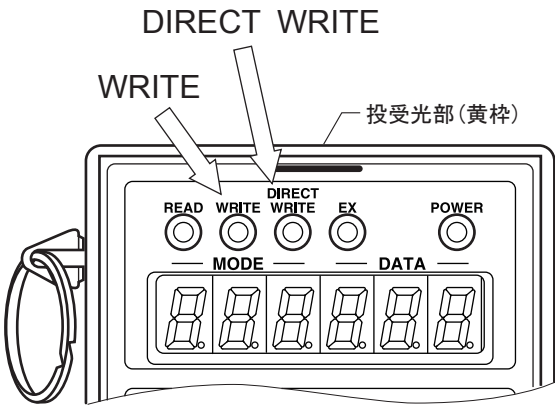
【アドレスの書き込み・・・注意点】

書き込みモードには、次の2種類があります。ご理解の上選択してください。

モード	内容
WRITE	<p>書き込んだ後、ターミナルの電源、伝送信号を一旦切って再投入すると、書き込み値が有効となります。</p> <p>システムの安全を考慮し、通常はこのモードによる書き込みを推奨します。</p>
DIRECT WRITE	<p>書き込むと同時に書き込み値が有効となります。</p> <p>電源を落とさず変更が可能のため手軽な方法ですが 思わぬターミナル動作によって事故の無いよう 操作には注意が必要です。</p>

分岐断線機能を使用する場合は、全てのアドレスを設定した後に、マスタ側で「アドレス自動認識操作」を行い接続IDを登録してください。

マスタ側で「アドレス自動認識操作」を行い、接続IDを登録した後にアドレス変更を行うと断線エラーとなります。
この場合は、「アドレス自動認識操作」を行い、接続IDを再登録してください。



【アドレスの書き込み・・・WRITEモード】

伝送信号、電源再投入によって更新が有効になるモードです。

書き込む時は、対象ユニットに電源（2線の場合は伝送信号）が供給されている事を確認してください。
また全て書き込んだ後は、安全を確認の上、対象ユニットの電源（2線の場合は伝送信号）を電源（2線の場合は伝送信号）リセットし、書き込み結果を更新してください。

■アドレスの書き込み操作

	操作方法	表 示	
1	POWERスイッチON		約2秒後SELEct点滅表示
2	SELECTスイッチを押す		点滅表示
3	SELECTスイッチを数回押し WRITE表示を点灯	WRITE (黄)	
4	SETスイッチを押す		書き込みモード確定
5	SETスイッチを押す		ドット点滅移動
6	UP/DOWNスイッチで書き込みたい アドレス値を表示 Rスイッチを操作すると+50づつ加算 され、初期設定により250又は500を 超えて加算すると0に戻る		設定アドレス値表示
7	書き込みたいユニットのアドレス 設定ポートにARW-03の投受光部 (黄枠)を向けSETスイッチを押す		書き込み中
			書き込んだアドレス値
8	次のターミナルに移り書き込む場合は 更にUP/DOWNスイッチで値を変更し SETスイッチによる書き込み操作を 繰り返す		書き込み中
			書き込んだアドレス値
9	書き込みに失敗した場合		Err表示
10	投受光面を合わせ直し、 再度SETスイッチを押す		書き込み中
			書き込んだアドレス値
11	・ Err表示を消す ・ 他のモードに切り換える CLEARスイッチを押す		WRITEモード表示に 戻る
12	Lスイッチを押す		ドット点滅移動
13	SELECTスイッチを数回押し 希望モードの表示を点灯	READ (緑) WRITE (黄) DIRECT WRITE (橙)	
14	SETスイッチを押す		ドット点滅移動
15	6項に戻り、再書き込み操作		

ARW-03使用後は、POWERスイッチを長押しし、電源をOFFしてください。

【アドレスの直接書き込み・・・DIRECT WRITEモード】

書き込み時点で値が有効になるモードです。

書き込む時は、対象ユニットに電源（2線の場合は伝送信号）が供給されている事を確認してください。

このモードは書き込んだ時点で値が更新されます。アドレス対応が変化し思わぬ動きなどが発生する可能性もありますので、安全に注意して操作してください。

■アドレスの書き込み操作

	操作方法	表 示	
1	POWERスイッチON		約2秒後SELECT点滅表示
2	SELECTスイッチを押す		点滅表示
3	SELECTスイッチを数回押し DIRECT WRITE表示を点灯	DIRECT WRITE (黄)	
4	SETスイッチを押す		書き込みモード確定
5	SETスイッチを押す		ドット点滅移動
6	UP/DOWNスイッチで書き込みたい アドレス値を表示 Rスイッチを操作すると+50づつ加算 され、初期設定により250又は500を 超えて加算すると0に戻る		設定アドレス値表示
7	書き込みたいユニットのアドレス 設定ポートにARW-03の投受光部 (黄枠)を向けSETスイッチを押す		書き込み中
			書き込んだアドレス値
8	次のターミナルに移り書き込む場合は 更にUP/DOWNスイッチで値を変更し SETスイッチによる書き込み操作を 繰り返す		書き込み中
			書き込んだアドレス値
9	書き込みに失敗した場合		Err表示
10	投受光面を合わせ直し、 再度SETスイッチを押す		書き込み中
			書き込んだアドレス値
11	・ Err表示を消す ・ 他のモードに切り換える CLEARスイッチを押す		WRITEモード表示に 戻る
12	Lスイッチを押す		ドット点滅移動
13	SELECTスイッチを数回押し 希望モードの表示を点灯	READ (緑) WRITE (黄) DIRECT WRITE (橙)	
14	SETスイッチを押す		ドット点滅移動
15	6項に戻り、再書き込み操作		

ARW-03使用後は、POWERスイッチを長押しし、電源をOFFしてください。

【パラメータについて】

パラメータは、ユニットに内蔵されている動作要素と変数です。
パラメータを選択するタイプのユニットでは
動作仕様をARW-03で選択し設定します。
パラメータ詳細については、
併せて各ユニットの製品説明書をご覧ください。



注意

下記のパラメータや変数値を超えた値では操作しないでください。適切に機能しなくなる場合があります。
パラメータ、変数オーバーで設定しようとするするとARW-03の表示部に「E-303」が表示されます。

■代表機種のパラメータ

種 別	型 式	パラメータ内容		
扉型ポカよけ	A027XB-F02G□-P A227XB-F02G□-P	01	1.2.3.4.5.6.7	扉の上位置
		02	1.2.3.4.5.6.7	扉の下位置
		03	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	タイマ
		04	—	予備
		05	—	予備
		06	—	予備
小型ポカよけ	A027XB-K02VN-P A027XB-K02V-P A227XB-K02VN-P A227XB-K02V-P	01	0(緑).1(赤).2(青).3(黄).4(空).5(紫).6(白)	表示色
		02	—	予備
		03	—	予備
		04	—	予備
		05	—	予備
		06	—	予備
ASLINKER	B280SB-02U□-C1220 B280PB-02U□-C1220	01	0(I/O断線、24VL短絡検出：OFF) 1(I/O断線、24VL短絡検出：ON) 出荷時：0	機能選択
	B281□B-02U□-CC20	01	0(I/O断線、24VL短絡検出：OFF) 1(I/O断線、24VL短絡検出：ON) 出荷時：0	機能選択
ASLINKAMP	B289SB-01AF-CAM20 B289SB-01AF-CAS B289SB-01AP-CAM20 B289SB-01AP-CAS	01	センサ感度(しきい値)設定 調整レンジ：0～100 出荷時：50	機能選択
		02	センサ感度に対するヒステリシス設定 調整レンジ：0～100 出荷時：5	機能選択
		03	アラーム判定値上限設定 調整レンジ：0～100 出荷時：80	機能選択
		04	アラーム判定値下限設定 調整レンジ：0～100 出荷時：20	機能選択
		05	アラーム判定値における監視時間設定 調整レンジ：3～255 出荷時：50(単位0.1秒)	機能選択
		06	ダークON/ライトON切り替え 出荷時：0	機能選択
			透過型 0:ダーク(遮蔽)ON 1:ライト(透過)ON	
		06	反射型 2:ダーク(反射なし)ON 3:ライト(反射あり)ON	機能選択
		07	動作モード設定 出荷時：0 0(診断機能：OFF) 1(診断機能：ON) ※ASLINKAMP側表示連動	機能選択
		08	光電ヘッド対応用内部設定 変数：0～3 出荷時：0 ※この値は、出荷時設定でご使用ください。 変更する場合は、弊社営業までご相談ください。	機能選択

【パラメータについて（続き）】

■代表機種のパラメータ

種 別	型 式	パラメータ内容		
AnyWireASLINK マッピングターミナル	B232SB-MX100-STP B232SB-SX100-STP	01	0.1.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15 出荷時：10	感度
		02	0（一括感度設定）.1（個別感度設定） 出荷時：0	B232SB-SX100-STPの 感度設定モード
		03	0（エラーコーム監視機能あり） 1（エラーコーム監視機能なし） 出荷時：0	エラーコーム 監視機能
ASLINKSENSOR	B283SB-01-1KC	01	センサ感度（しきい値）設定 調整レンジ：0～100 出荷時：50	機能選択
		02	センサ感度に対するヒステリシス設定 調整レンジ：0～100 出荷時：5	機能選択
		03	アラーム判定値上限設定 調整レンジ：0～100 出荷時：80	機能選択
		04	アラーム判定値下限設定 調整レンジ：0～100 出荷時：20	機能選択
		05	アラーム判定値における監視時間設定 調整レンジ：3～255 出荷時：50（単位0.1秒）	機能選択
		06	ダークON/ライトON切り替え 出荷時：0 0：ダーク（遮蔽）ON 1：ライト（透過）ON	機能選択
		07	動作モード設定 出荷時：0 0（診断機能：OFF） 1（診断機能：ON） ※ASLINKSENSOR側表示連動	機能選択
		08	受光モード設定 出荷時：0 0（ノーマルモード） 1（ファインモード）	機能選択
	B283SB-01-1KP	01	投光モード設定 出荷時：0 0（ノーマルモード） 1（パワーモード）	機能選択

【パラメータについて（続き）】

■代表機種のパラメータ

種 別	型 式	パラメータ内容	
ASLINKSENSOR	B283SB-01-1KR-V B283SB-01-1KS	01	センサ感度(しきい値)設定 調整レンジ: 0～100 出荷時:50 機能選択
		02	センサ感度に対するヒステリシス設定 調整レンジ: 0～100 出荷時:5 機能選択
		03	アラーム判定値上限設定 調整レンジ: 0～100 出荷時:80 機能選択
		04	アラーム判定値下限設定 調整レンジ: 0～100 出荷時:20 機能選択
		05	アラーム判定値における監視時間設定 調整レンジ: 3～255 出荷時:50(単位0.1秒) 機能選択
		06	ダークON/ライトON切り替え 出荷時:1 0:ダーク(反射なし)ON 1:ライト(反射あり)ON 機能選択
		07	動作モード設定 出荷時:0 0(診断機能:OFF) 1(診断機能:ON) ※ASLINKSENSOR側表示連動 機能選択
		08	受光モード設定 出荷時:0 0(ノーマルモード) 1(ファインモード) 機能選択
		09	投光モード設定 出荷時:0 0(ノーマルモード) 1(パワーモード) 機能選択
	B283SB-01-1K2□	01	センサ感度(しきい値)設定 調整レンジ: 0～100 出荷時:50 機能選択
		02	センサ感度に対するヒステリシス設定 調整レンジ: 0～100 出荷時:5 機能選択
		03	アラーム判定値上限設定 調整レンジ: 0～100 出荷時:80 機能選択
		04	アラーム判定値下限設定 調整レンジ: 0～100 出荷時:20 機能選択
		05	アラーム判定値における監視時間設定 調整レンジ: 3～255 出荷時:50(単位0.1秒) 機能選択
		06	ノーマリーオープン/ノーマリークローズ 0:ノーマリーオープン 出荷時:0 1:ノーマリークローズ 機能選択
		07	動作モード設定 出荷時:0 0(診断機能:OFF) 1(診断機能:ON) ※ASLINKSENSOR側表示連動 機能選択

【パラメータの読み出し】

読み出し対象ユニットに電源（2線の場合は伝送信号）が供給されている事を確認してください。

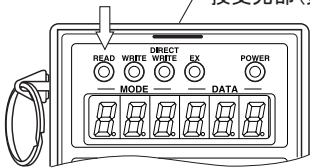
■パラメータの読み出し操作

	操作方法	表 示	
1	POWERスイッチON		約2秒後SELEct点滅表示
2	SELECTスイッチを押す		点滅表示
3	SELECTスイッチを数回押し READ表示を点灯	READ (緑)	
4	SETスイッチを押す		読み出しモード確定
5	UPスイッチを押し、対象ターミナルから読み出したいパラメータ種別のP番号を表示		パラメータ1を選択
6	投受光部(黄枠)をユニットに向け SETスイッチを押す		読み込み中
			読み込んだパラメータ値
7	読み出しに失敗した場合		Err表示
8	投受光面を合わせ直し、 再度SETスイッチを押す		読み込み中
			読み込んだパラメータ値
9	・ Err表示を消す ・ 他のモードに切り換える CLEARスイッチを押す		読み出しモード表示に戻る
10	他ユニットから読み出す場合は 6項へ戻り操作を繰り返す		
11	アドレス設定モードに戻る場合は DOWNスイッチを1回押す		Ad表示に変わる

ARW-03使用後は、POWERスイッチを
長押しし、電源をOFFしてください。

READが点灯していること

投受光部(黄枠)

















【パラメータの書き込み】

伝送信号、電源再投入によって更新が有効になるモードです。

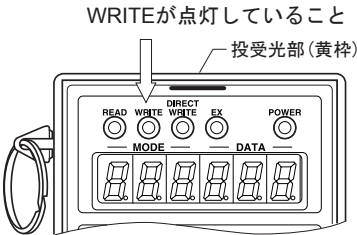
書き込む時は、対象ユニットに電源（2線の場合は伝送信号）が供給されている事を確認してください。

また全て書き込んだ後は、安全を確認の上、対象ユニットの電源（2線の場合は伝送信号）を電源（2線の場合は伝送信号）リセットし、書き込み結果を更新してください。

■パラメータの書き込み操作

	操作方法	表 示	
1	POWERスイッチON		約2秒後SELECT点滅表示
2	SELECTスイッチを押す		点滅表示
3	SELECTスイッチを数回押し WRITE表示を点灯	WRITE (黄)	
4	SETスイッチを押す		書き込みモード確定
5	UPスイッチを1回押し、パラメータ 書き込みの表示にする		
6	SETスイッチを押す		ドット点滅移動
	UP/DOWNスイッチで書き込みたい パラメータ値を表示		パラメータ1 で変数 “1” を選択した場合
	書き込みたいユニットのアドレス 設定ポートにARW03の投受光部 (黄枠)を向けSETスイッチを押す	 	書き込み中 書き込んだパラメータ値
7	書き込みに失敗した場合		Err表示
8	投受光面を合わせ直し、 再度SETスイッチを押す	 	書き込み中 書き込んだパラメータ値
9	他ユニットに書き込む場合は 6項へ戻り操作を繰り返す		
10	・ Err表示を消す ・ 他のモードに切り換える CLEARスイッチを押す		書き込みモード表示に 戻る
11	Lスイッチを押す		ドット点滅移動
12	アドレス設定モードに戻る場合は DOWNスイッチを1回押す		Ad表示に変わる

ARW-03使用後は、POWERスイッチを
長押しし、電源をOFFしてください。



【パラメータの直接書き込み】

書き込み時点で値が有効になるモードです。

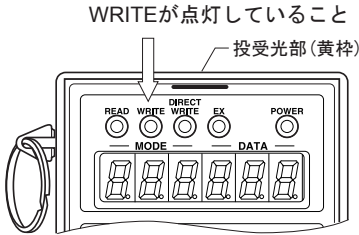
書き込む時は、対象ユニットに電源（2線の場合は伝送信号）が供給されている事を確認してください。

このモードは書き込んだ時点で値が更新されます。特性、動作が変化し思わぬ動きなどが発生する可能性もありますので、安全に注意して操作してください。

■パラメータの直接書き込み操作

	操作方法	表 示	
1	POWERスイッチON		約2秒後SELEct点滅表示
2	SELECTスイッチを押す		点滅表示
3	SELECTスイッチを数回押し DIRECT WRITE表示を点灯	DIRECT WRITE (橙)	
4	SETスイッチを押す		書き込みモード確定
5	UPスイッチを1回押し、パラメータ 書き込みの表示にする		
6	SETスイッチを押す		ドット点滅移動
	UP/DOWNスイッチで書き込みたい パラメータ値を表示		パラメータ1で変数“1” を選択した場合
	書き込みたいユニットのアドレス 設定ポートにARW03の投受光部 (黄枠)を向けSETスイッチを押す		書き込み中
			書き込んだパラメータ値
7	書き込みに失敗した場合		Err表示
8	投受光面を合わせ直し、 再度SETスイッチを押す		書き込み中
			書き込んだパラメータ値
9	他ユニットに書き込む場合は 6項へ戻り操作を繰り返す		
10	・ Err表示を消す ・ 他のモードに切り換える CLEARスイッチを押す		書き込みモード表示に 戻る
11	Lスイッチを押す		ドット点滅移動
12	アドレス設定モードに戻る場合は DOWNスイッチを1回押す		Ad表示に変わる

ARW-03使用後は、POWERスイッチを
長押しし、電源をOFFしてください。

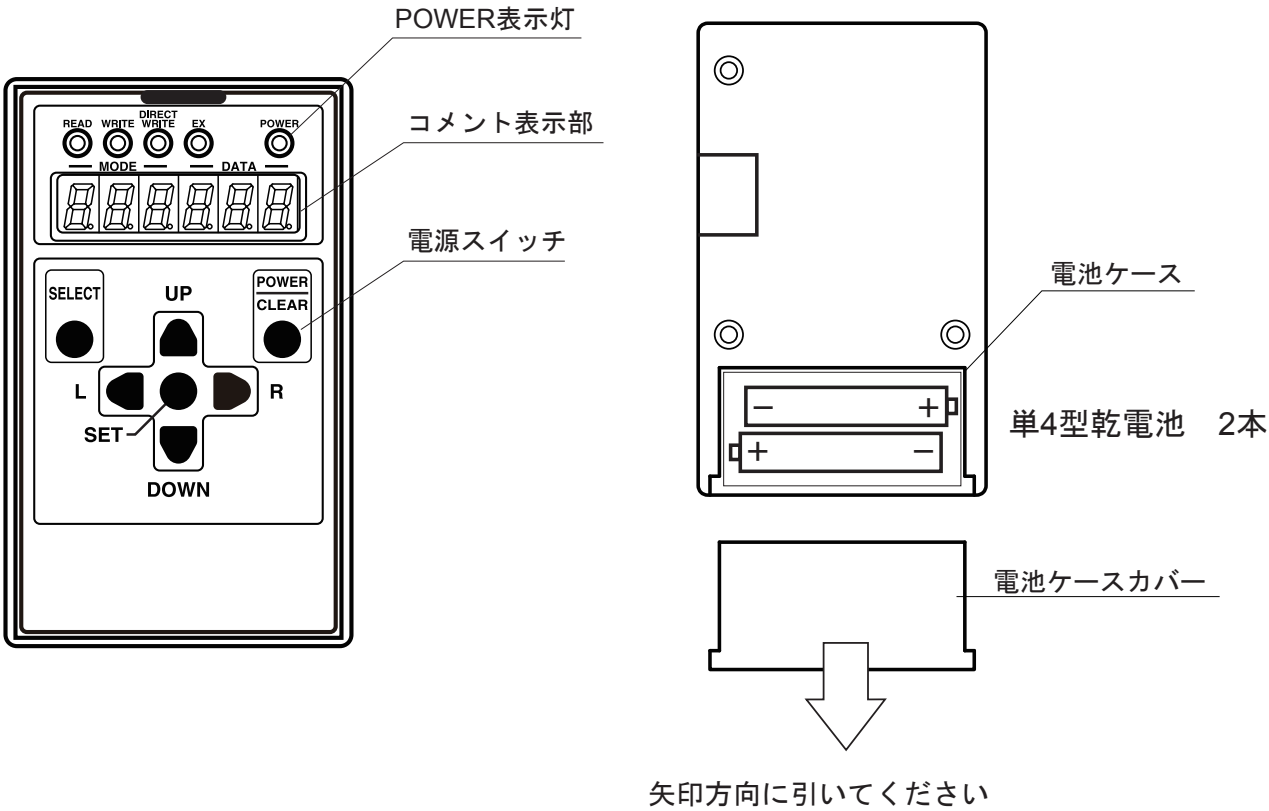



【電池交換】

POWER表示灯が点滅した場合は、電池の寿命ですので交換してください。

■電池交換

	状 態	表 示	
1	POWERスイッチON	POWER表示灯点滅 [E] [A] [n] [C] [E]	電池の寿命
2	POWERスイッチOFF		電池の交換





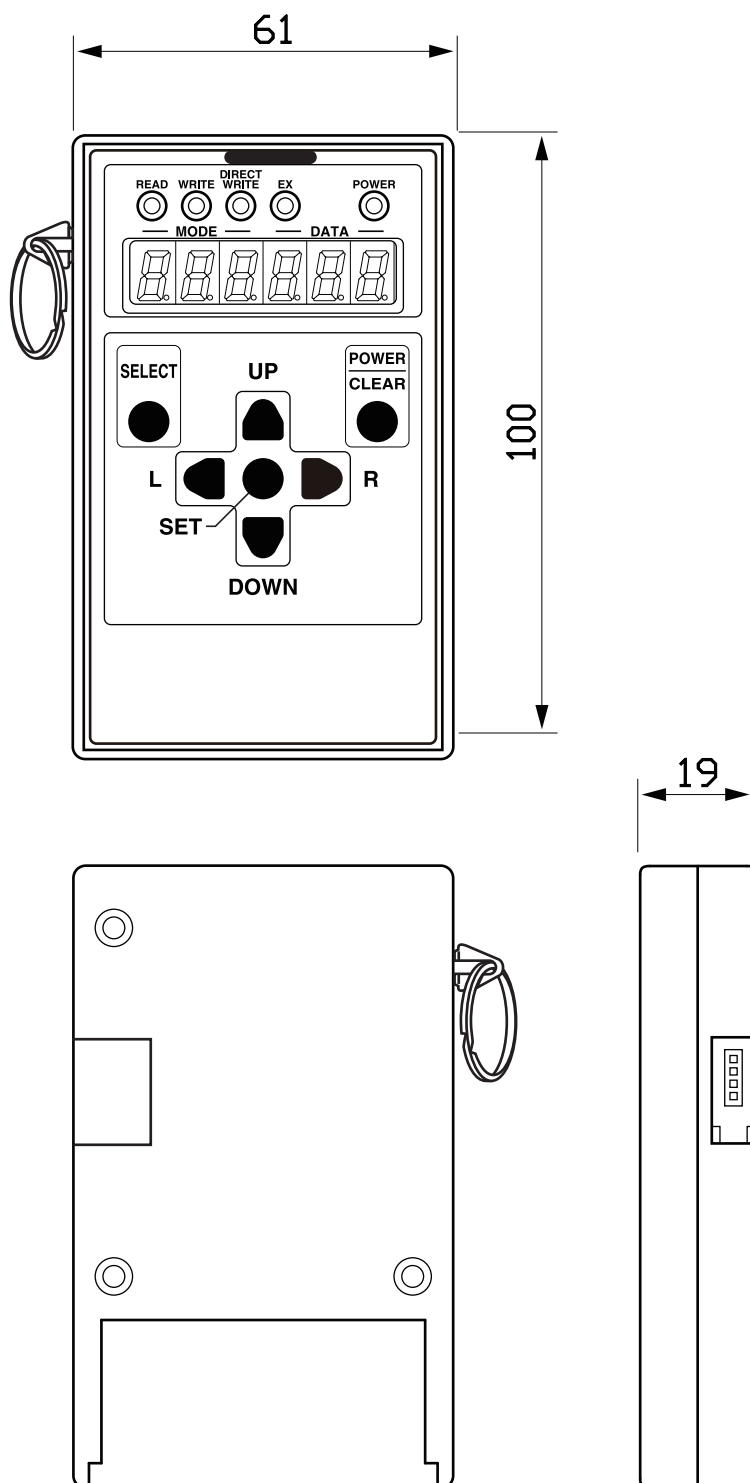
注意

電池は+、-の方向を正しく入れてください。
故障や破裂などの原因となります。
使用済み電池は、各自治体等の規定に従い、
適切に処理してください。

※乾電池は別梱包にて添付されています。
付属の電池は動作確認用のモニター電池ですので
市販の電池よりも早く寿命が来ることがあります。
その場合は、別途「単4型乾電池」2本をご購入
ください。
充電式の電池はお勧めできません。

【外形寸法】

単位 : mm



【連絡先】

Anywire 株式会社エニワイヤ

本 社	〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1	TEL:075-956-1611(代) / FAX:075-956-1613
西 日 本 営 業 所	〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1	TEL:075-956-4911 / FAX:075-956-1613
東 日 本 営 業 所	〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町47(新広栄ビル6F)	TEL:03-5209-5711 / FAX:03-5209-5713
中 部 営 業 所	〒461-0048 愛知県名古屋市中区矢田南5-1-14	TEL:052-723-4611 / FAX:052-723-4683
九 州 営 業 所	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目15番2号(第6明星ビル 7F)	TEL:092-724-3711 / FAX:092-724-3713
サポ-トダイヤル: TEL 075-952-8077		

Printed in Japan 2011,2013,2015 UMA-08321G